

2018 年度 三橋貴風客員教授 邦楽特別講義
～ 現代邦楽におけるアンサンブル法 ～

1. 日 時 : 2018年9月21日(金)13時30分～16時45分
2. 場 所 : F号館106教室
3. 対 象 学 生 : 邦楽 専攻生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : 三橋貴風 客員教授

尺八琴古流を佐々木操風氏に、普化尺八古典本曲を岡本竹外氏に指示。1980年、文化庁芸術祭優秀賞、1981年に大阪文化祭賞を受賞し、1989年、文化庁芸術祭賞を受賞。1992年第10回中島健蔵音楽賞受賞、ソロCD「竹林奇譚」により文化庁芸術作品賞を受賞。2009年には文化庁文化交流史に任命され、ブラジル及び韓国において活動を展開する。また同年、文化庁芸術祭大賞を、翌2010年に文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、横浜文化賞を受賞。2011年 紫綬褒章を受賞し、翌年の皇居に於ける歌会始めに参列。現在までにベルリン・ドイツ交響楽団、BBC 交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、バルセロナ交響楽団、リヨン国立管弦楽団等と共演。日本と海外を股にかける、日本尺八界の巨匠。

5. 講 義 概 要 :

1962年に作曲された小山清茂作曲「和楽器のための四重奏曲 第一番」を取り上げ、箏群と尺八によるアンサンブル法を中心にご指導いただきます。

小山清茂の他の邦楽作品はしばしば演奏されますが、この「和楽器のための四重奏曲第一番」は、これまでにあまり演奏される機会が多くありませんでした。それは箏の調弦や演奏技術の難易度によるものも大きいと考えられます。今回は、あえてこの作品を取り上げ、名曲を世に知らしめたい、という三橋貴風先生の思いを、授業内でご指導していただきます。

- 箏の調弦について(第一楽章から第三楽章を通して)
- 第一楽章のモチーフ・及び全体の流れについて
- 第二楽章・第三楽章におけるアイヌ民謡の表現について

※なお、この特別講義の成果は、来たる11月16日(金)に常翔ホールで開催する「第41回邦楽演奏会」にて発表いたします。